

目次

1面

二〇一五年 年頭にあって

安倍ブルジョワ独裁政権と闘う、労働者階級の思想を獲得しよう！

〈活動家集団 思想運動〉 常任運営委員会

2面～4面

新春座談会 自公三分の二状況を打破する道

日本軍国主義敗北七〇年の意味

広野省三、山下勇男、逢坂秀人、大橋省三、日向よう子、米丸かさね、  
中村泰子、『思想運動』編集部（司会）

4面

新春エッセイ 辺野古の反基地の闘いと選挙の結果をめぐって

目取真 俊（作家）

5面

「戦争への道を許さない 12・14 京都の集い」開催

確実に伝わった反戦のメッセージ

木原健一

朝鮮半島と集団的自衛権①

軍隊としての自衛隊

日本がもう一度戦争をする国になることに朝鮮人は無関心ではられない

白 宗 元（歴史学博士）

催物案内

6面～7面

戦後七〇年に思う——戦後民主主義・平和主義の総否定の流れに抗して

沖縄から、戦後七〇年を思う

新崎盛暉（沖縄大学名誉教授）

ふたたび、「戦争は始まっている」

中原道子（VAWW - RAC 〈「戦争と女性への暴力」リサーチアクションセンター〉）

新たなファシズム体制への道を阻もう

瀨 厚（山口大学副学長）

いまこそ日本の全勢力を結集し安倍内閣の打倒を！

二瓶久勝（壊憲NO！ 96条改悪反対連絡会議共同代表）

「内在化された植民地」からの脱却・解放を

崔権一（大阪朝鮮高級学校教員）

ギリシャ共産党からのメッセージ

ファシズム打倒七〇周年に寄せて

ギリシャ共産党中央委員会国際関係部

短期連載 日本社会の軍事化を斬る⑥  
「準戦時体制」に移行する日本社会

吉沢弘志（埼玉大学教員）

## 8面～9面

労働者座談会——闘いの現場を訪ねて

反基地闘争の不撓の歴史ひきつぐ辺野古の闘い

基地を造らせない！ 二〇一五年、共に闘おう

遠藤 裕二（編集者）、日向よう子（福祉）、米丸かさね（アルバイト）、  
野田光太郎（郵政）

前照灯 手放せないもの

## 10面

原発作業員の緊急時被ばく限度の引上げ反対

再稼働のために労働者を犠牲にするな

中村泰子

連載『昭和天皇実録』の虚像第1回

有識者を含めた天皇擁護の「大芝居」

高嶋伸欣（琉球大学名誉教授）

## 11面

新春座談会——スポーツと学校とナショナリズム

オリンピックファシズムへの徹底批判を

谷口源太郎（スポーツジャーナリスト）×藤原 晃（神奈川高教組）

## 12面

HOWS文学ゼミ「武井昭夫の批評運動」第四回を前に

〈戦後〉記録文学の可能性と限界を見定める

飯島 聡

頂門一針 勝った負けたとさわぐじゃないぜ

連載——北海道への旅 1

朱鞠内湖と雨竜ダムを訪ねて

立野正裕

編集部発